

高野地区まちづくり基本方針

平成31年2月

高野地区まちづくり協議会

*** 目 次 ***

第1章 高野地区まちづくりの基本的な考え方	．．．．	1
第2章 高野地区の概要	．．．．	2
1. 高野地区の概要	．．．．	2
2. 高野地区の人口推移・構成	．．．．	3
3. 「まちづくり」に関するアンケート調査の実施	．．．．	4
第3章 高野地区の将来ビジョン	．．．．	7
1. 基本理念	．．．．	7
2. 目標	．．．．	7
第4章 高野地区における重点項目と取組事項	．．．．	8
1. 「まちづくり」の重点項目と取組事項	．．．．	8
2. 情報発信・共有	．．．．	10
3. 高野地区まちづくり協議会の活動体系	．．．．	11
第5章 高野地区まちづくり協議会の組織体制	．．．．	12

第1章

高野地区まちづくりの基本的な考え方

高野地区では、高野地区地域福祉活動計画実行委員会（以下、「実行委員会」という。）が中心となり、高野地区内全体のネットワークづくりから始め、地域の共通テーマである敬老行事を開催することで、「まちづくり協議会」設立を目指すということで協議を開始しました。

敬老行事の開催に向けて協議を重ね、ネットワークを構築し、高野地区の皆様の御協力により、盛大に敬老行事を開催することができました。

その後、「まちづくり協議会」設立に向けた具体的な協議を進め、平成31年2月24日に高野地区まちづくり協議会設立となります。

高野地区まちづくり協議会は、実行委員会に様々な分野の方々が加わり、又はつながり、実行委員会を発展・拡大させ組織した協議会です。

そのため、実行委員会の活動を継続するとともに、新たな活動にも取り組むことで、人と地域のあたたかさを感じられる住みよい“まち”の実現を目指します。

高野地区まちづくり協議会の将来ビジョンをはじめ、重点項目、取組事項を高野地区まちづくり基本方針として、ここに示します。



高野地域交流会（敬老行事）の様子

第2章 高野地区の概要

1. 高野地区の概要

(1) 高野地区の位置



(2) 高野地区の歴史

昭和30年3月に守谷町が誕生するまでは、高野村として単独で村政を敷いており、合併前の昭和29年7月時点の高野村の人口は、1,700人強でした。

昭和35年4月に役場高野出張所が廃止となり、守谷町役場へ事務が統合されます。この頃の守谷町の人口は、11,449人（第9回国勢調査）です。

昭和54年に、日本住宅公団（独立行政法人都市再生機構）が南守谷特定土地区画整理事業の認可を受け、住宅開発を開始しました。その後、昭和62年に常総ニュータウン南守谷地区宅地分譲が始まり、昭和63年10月に南守谷特定土地区画整理事業が竣工しました（けやき台、松ヶ丘）。

平成3年にけやき台中学校が開校、平成6年に松ヶ丘小学校が開校しました。

平成5年に、土地区画整理事業組合が設立され、乙子高野土地区画整理事業が認可を受け、新たな住宅開発が開始し、平成11年に竣工しました（美園）。

その間、平成8年4月には、高野公民館が開館し、その後、平成17年に南守谷交番が開所、平成20年に南守谷児童センターが開館しています。

高野地区は、昔ながらの緑が残る旧高野村と土地区画整理事業で新たに生み出された“まち”が、混在する地区です。

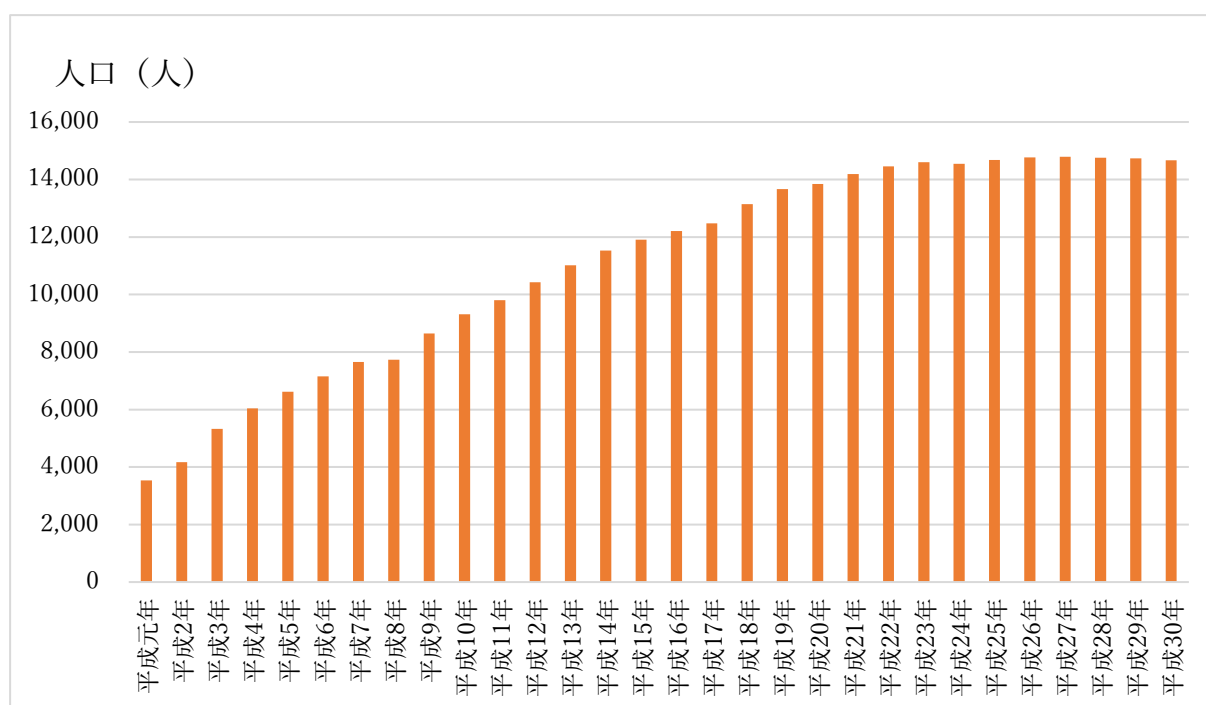
2. 高野地区の人口推移・構成

(1) 人口推移（各年4月1日現在/常住人口）

高野地区の人口は、南守谷特定土地区画整理事業・乙子高野土地区画整理事業の竣工に合わせ、平成初期、平成12年前後と二段階で、急激な増加がありました。

しかしながら、人口増加は次第に緩やかになり、平成27年をピークに減少に転じています。

年次	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成30年
高野地区人口	10,432人	12,476人	14,453人	14,788人	14,669人



(2) 人口構成

（平成31年1月1日現在）

区 分	市全体	高野全体	高野	鈴塚
年少人口割合(0～14歳)	15.50%	14.21%	12.90%	8.25%
生産年齢人口割合(15～64歳)	62.49%	66.07%	55.56%	52.58%
老年人口割合(65歳～)	22.01%	19.71%	31.54%	39.18%

区 分	乙子	けやき台	松ヶ丘	美園
年少人口割合(0～14 歳)	11.44%	16.56%	14.35%	10.21%
生産年齢人口割合(15～64 歳)	59.95%	66.00%	65.49%	73.56%
老年人口割合(65 歳～)	28.60%	17.43%	20.17%	16.22%

※ 少数点第三位で四捨五入しているため内訳の計は、必ずしも100%となりません。

- ✓ 高野・鈴塚・乙子地域では、老年人口割合の割合が非常に高く、特に高野・鈴塚では、30%を超えています。
- ✓ 市全体と高野全体を比較すると、年少人口割合も低いですが、老年人口割合も低い状況です。

3. 「まちづくり」に関するアンケート調査の実施

高野地区まちづくり協議会設立準備会では、今後、高野地区を住みやすい、住み続けたい地区にしていく活動に取り組んでいきたいと考えています。そこで、住民にとって住みやすい、住み続けたい “まち” をつくるための活動をどのように進めていくかを検討するために、住民の方々へのアンケート調査を実施しました。

(1) アンケート調査の実施概要

■ 対 象 者

- ①自治会・町内会区長・班長 ②小・中学校長 ③PTA・子ども会
- ④シニアクラブ・サロン ⑤防犯連絡協議会 ⑥高野公民館運営協力員 ⑦消防団
- ⑧地域福祉活動計画実行委員会（民生委員・児童委員含む） ⑨各団体等
- ⑩高野地区まちづく協議会設立準備会

■ 回収状況等

- ・①～⑩の団体等の代表者等360人へ配付
- ・平成30年12月25日までに返信
- ・211回収 / 回収率58.6%

(2) アンケート調査の結果

アンケート調査の一部の結果は下記のとおりです。

住民にとって、高野地区が魅力的で住みたい“まち”となるために、特に重要だと思う活動の上位3つに○を付けてください。



活動の順位

順位	活動	ポイント
1位	1. 住民同士が助け合い、支え合う活動があること	153
2位	3. 防犯・防災・交通安全に関する活動があること	132
3位	5. 子どもや高齢者の見守り活動があること	105
4位	2. 多世代が集い、交流する活動があること	80
5位	4. 地域づくりの担い手を育てる活動があること	67

- 「住民同士が助け合い、支え合う活動があること」については、すべての地域において高い状況にあり、非常に重要な活動であると認識されているようです。

- 「防犯・防災活動」、「子どもや高齢者の見守り活動」は、市としても推進している活動であり、高野地区に限らず、市内すべての地区において、上位に位置することが想定されます。
- ポイント数が多い・少ないはありますが、すべての活動にポイントが入っていますので、一定のニーズがあると考えられます。

第3章 高野地区の将来ビジョン

高野地区まちづくり協議会は、基本理念を掲げ、それを実現するために目標を持ち、将来ビジョンとします。

1. 基本理念

誰もが、“まちづくり”に協力することで絆づくりに努め、
人と地域の“あたたかさ”を感じられる住みよい“まち”の実現

高野地区まちづくり協議会は、実行委員会を発展・拡大させ組織しているため、実行委員会が掲げてきた基本理念を継承します。

2. 目 標

高野地区まちづくり協議会は、目指すべき理想の地域を目標として3つ掲げます。
基本理念を持ち、理想の地域を目標として掲げ、高野地区全体で“まちづくり”に取り組むことで、将来ビジョンを実現します。

- ◇ 助け合う、支え合う仕組がある地域を目指します。
- ◇ 安全・安心に暮らせる地域を目指します。
- ◇ みんなが“まちづくり”に協力し、絆が生まれる地域を目指します。

第4章 高野地区における重点項目と取組事項

1. 「まちづくり」の重点項目と取組事項

将来ビジョンを実現するために、高野地区における「まちづくり」に特に重要である項目を重点項目として、各目標に掲げます。

◇ **助け合う、支え合う仕組がある地域を目指します。**

■■■ 地域福祉部会 ■■■

【重点項目①】

時代に適した地域で助け合う・支え合う仕組づくりを検討・実施する。

【重点項目②】

多世代が集う場を創出するとともに、誰もが健康で活動・活躍する機会を創る。

✚ 具体的な実施項目・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 「日常生活のお手伝い」の検討・実施
- (2) サロンの拡大・充実
- (3) 互助、共助の運送の検討・実施
- (4) 各団体（シニアクラブ・子ども会等）と連携・活動支援

◇ **安全・安心に暮らせる地域を目指します。**

■■■ 防災・防犯部会 ■■■

【重点項目①】

地域全体で連携した防犯活動を実施する。

【重点項目②】

災害の際、子ども・高齢者・障がい者等の救済の仕組づくりを検討・実施する。

具体的な実施項目・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 防犯連絡員協議会との連携で地域の防犯活動の推進
- (2) 学校、子ども会と連携し、安全・安心な見守り活動の検討・実施
- (3) 各地域の自主防災組織の実態把握と防災活動の実施

◇ みんなが“まちづくり”に協力し、絆が生まれる地域を目指します。

■■■ 絆づくり部会 ■■■

【重点項目①】

まちづくり・絆づくりの担い手を育成する。

【重点項目②】

多世代交流につながる参加型事業を検討・実施する。

具体的な実施項目・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 多世代交流行事（敬老会、健康ひろば等）を実施し、高齢者の行事参加を促進
- (2) 子どもヘルパー行事の継続・発展
- (3) 体験・参加する場づくり
- (4) 高野地区まちづくり協議会の目的達成に必要な活動であり、他部会に属さない活動

2. 情報発信・共有

広報部会を置き、地区内外へ情報を発信するとともに、地区内において情報を共有します。

■ ■ ■ 広報部会 ■ ■ ■

【重点項目①】

広報誌「きずな」を定期発行し、地域の情報共有を図る。

具体的な実施項目

- (1) 広報誌「きずな」の発行
- (2) 各部会から広報委員を2名選出し、情報の提供・取材の実施

3. 高野地区まちづくり協議会の活動体系

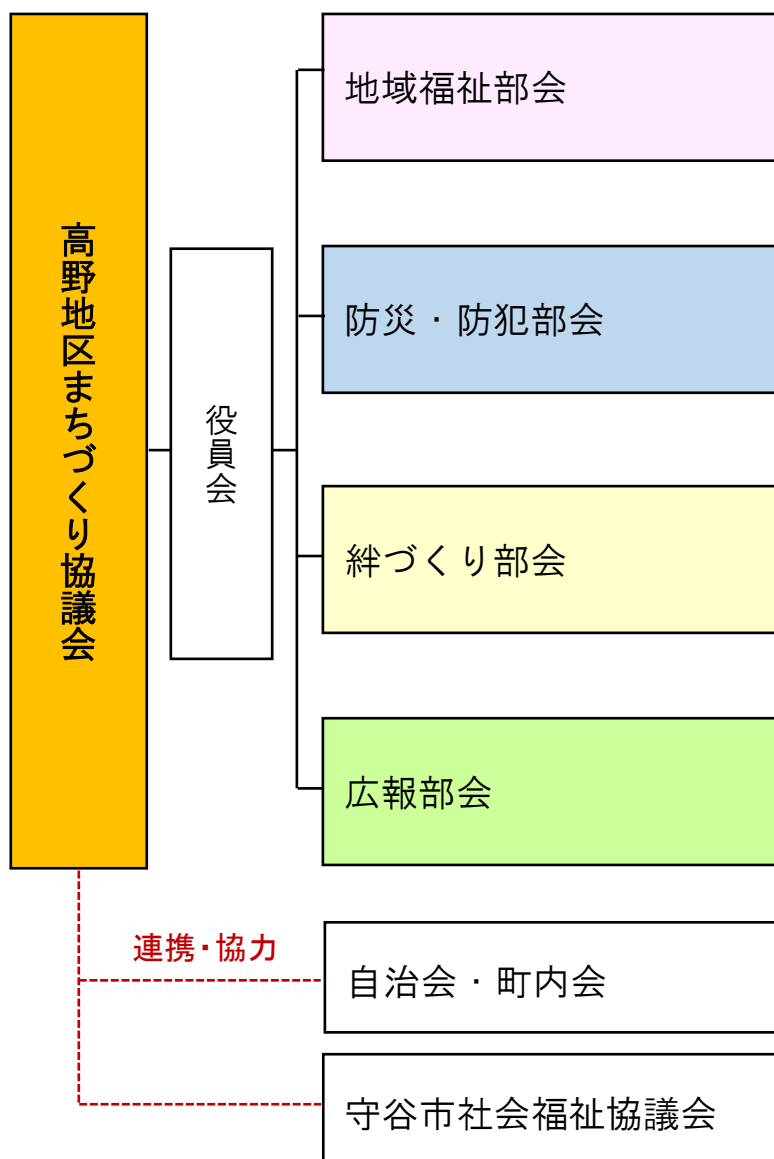
高野地区まちづくり協議会は、4つの部会を置き、基本理念を持ちながら、目標を達成するための重点項目を各部会が実践します。

将来ビジョン		部会	重点項目
基本理念	目標		
誰もが、 “あたたかさ”を感じられる住みよいまちの実現 “まちづくり”に協力することで絆づくりに努め、人と地域の	1 助け合う、支え合う 仕組がある地域を目指します。	地域福祉部会	① 時代に適した地域で助け合う・支え合う仕組づくりを検討・実施する。 ② 多世代の集う場を創出するとともに、誰もが健康で活動・活躍する機会を創る。
	2 安全・安心に暮らせる地域を目指します。	防災・防犯部会	① 地域全体で連携した防犯活動を実施する。 ② 災害の際、子ども・高齢者・障がい者等の救済の仕組づくりを検討・実施する。
	3 みんなが“まちづくり”に協力し、絆が生まれる地域を目指します。	絆づくり部会	① まちづくり・絆づくりの担い手を育成する。 ② 多世代交流につながる参加型事業を検討・実施する。
		広報部会	① 広報誌「きずな」を定期発行し、地域の情報共有を図る。

高野地区まちづくり協議会は、取組ごとに4部会で構成します。

「まちづくり」については、自治会・町内会と一緒に進める必要があるため、各活動については、自治会・町内会と連携して取り組みます。

また、これまでの地域福祉活動を継続して実施するために、社会福祉法人守谷市社会福祉協議会とも連携して取り組んでいきます。



高野地区まちづくり基本方針

策定年月 | 平成31年2月

策定者 | 高野地区まちづくり協議会